

岡山県栄養士会の 2025 年度定時総会が開催されますこと、誠におめでとうございます。開催にあたりまして、日本栄養士会会長としてメッセージを申し上げます。

本年は、「大日本栄養士会」創立 80 周年を迎えます。1945 年（昭和 20 年）終戦の年である 4 月 13 日に国は厚生省令にて「栄養士規則」を制定し、「栄養士」が誕生しました。これを受け、同年 5 月 21 日、帝国ホテルで「大日本栄養士会」設立総会が開催されました。現在、日本が世界の中で健康長寿国家となったのは、戦後 80 年の長きにわたり栄養改善運動を展開してきた成果といえます。この間、大勢の栄養士の先輩たちの不断の努力によって地道に栄養改善を全国で展開し、栄養士が職業人として活躍できる社会を整えたことにあります。この、戦後の日本における、栄養士による栄養改善の軌跡を、日本栄養士会は「ジャパン・ニュートリション」として発信し、世界の栄養不良の撲滅に役立てていくことを「東京栄養サミット 2021」でコミットメントしました。今年は「大日本栄養士会」創立 80 周年記念として全国栄養改善大会を開催することとしています。

また、コミットメントの実現に向けて、大阪・関西万博において、我が国の健康的で持続可能な栄養・食の成果である「ジャパン・ニュートリション」を世界に発信するとともに、未来における食料の環境問題、栄養・食のテクノロジー・地域に根差した食文化などを軸に、管理栄養士・栄養士による「未来の栄養改善」を推進する力を紹介していきます。

さらに、大阪・関西万博会場において、アジア栄養士連盟の議長国として、アジア各国の現代的な課題の解決と未来における栄養・食のあり方を協議する「アジア栄養士フォーラム 2025」を開催いたしますので、各県栄養士会の皆さまにも、是非ご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

また、栄養の力は、生命を維持し、こどもたちが健やかに成長し、人びとが健康で幸せな生活を送るために必要です。全ライフステージにおいて栄養に関する様々な課題がある中、管理栄養士・栄養士は栄養と食の専門職として、多様な職域で栄養課題の改善に取り組んでおり、本会では、より質の高い「栄養の指導」を目指して管理栄養士・栄養士の人材育成、活動支援を行っています。

しかし、著しい社会環境の変化や人びとのニーズの多様化等により管理栄養士・栄養士への期待が高まり、担うべき業務もより複雑・困難になりつつある中、資質の向上を図ることが喫緊の課題となっているとともに、さらに管理栄養士・栄養士が行う栄養関連事業の充実強化を図ることが必要となります。国で昨年度より推進されている「健康日本 2 1（第三次）」においても、全ての国民が健やかに生活できる持続可能な社会の実現に向けて、誰一人取り残さない実効性のある栄養政策の充実強化に取り組んでおり、管理栄養士・栄養士への期待も高まっています。

このようなことから、貴会におきましても、地方自治体、産学官等と連携・協働を図り、保健・医療・福祉などの様々な現場で管理栄養士・栄養士の活動が評価されますよう、ご尽力をお願い申し上げます。

全国の管理栄養士・栄養士は、栄養と食の専門職として、「栄養の力」ですべての国民が健やかに心豊かに幸せに生活できる持続可能な社会の実現に向け、最大限の努力をしていきましょう。

貴会会員の皆様におかれましては、ご自愛の上ご活躍のほど、お祈り申し上げます。

2025 年 6 月 14 日

公益社団法人日本栄養士会 代表理事会長 中村 丁次